【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【公開番号】特開2010-178789(P2010-178789A)
【公開日】平成22年8月19日(2010.8.19)
【年通号数】公開・登録公報2010-033
【出願番号】特願2009-22624(P2009-22624)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月18日(2012.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
正面側に開口する正面開口部を有する箱形の筐体と、
正面開口部を閉塞可能な前扉と、
画像を表示可能な画像表示装置と、
筐体の内部に設けられ、複数のメダルを貯留することが可能なメダルタンクと、
メダルタンクに貯留されたメダルの量が所定量になったことを検知する貯留量検知手段と、を備え、
前記画像表示装置は、前記貯留量検知手段が所定量のメダルを検知した場合と所定量のメダルを検知しなかった場合とで、互いに異なる画像を表示することを特徴とするスロットマシン。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（請求項１）
請求項１に記載の発明は、
正面側に開口する正面開口部(11)を有する箱形の筐体(1)と、正面開口部(11)を閉塞可能な前扉(3)と、画像を表示可能な画像表示装置(34)と、筐体(1)の内部に設けられ、複数のメダルを貯留することが可能なメダルタンク(8)と、メダルタンク(8)に貯留されたメダルの量が所定量になったことを検知する貯留量検知手段(60)と、を備え、前記画像表示装置(34)は、前記貯留量検知手段(60)が所定量のメダルを検知した場合と所定量のメダルを

検知しなかった場合とで、互いに異なる画像を表示することを特徴とするスロットマシン(S)に関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
スロットマシン(S)には、画像表示装置(34)の他に、ランプ(33)、及びスピーカ(35,45)等のいずれか１つ又は複数を、演出手段として設けてもよい。また、これらのすべてを、演出手段としてスロットマシン(S)に設けてもよい。
スロットマシン(S)は、貯留量検知手段(60)の検知結果に基づいて、いずれかの画像を画像表示装置(34)に表示させる。例えば、スロットマシン(S)は、特定の演出を演出手段に実行させる確率が、貯留量検知手段(60)の検知結果、つまりメダルタンク(8)に貯留されたメダルの量に応じて異なるように形成されてもよい。具体的には、スロットマシン(S)は、例えば、貯留量検知手段(60)が所定量のメダルを検知した場合には、所定の演出グループのいずれか１つの演出を演出手段に実行させ、貯留量検知手段(60)が所定量のメダルを検知しない場合には、異なる演出グループのいずれか１つの演出を演出手段に実行させるように形成されてもよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
（請求項１）
請求項１に記載の発明によれば、貯留量検知手段の検知結果、つまりメダルタンクに貯留されたメダルの量に基づいて、いずれかの画像を画像表示装置(34)に表示させることから、メダルタンクの有効利用を図ることができる。